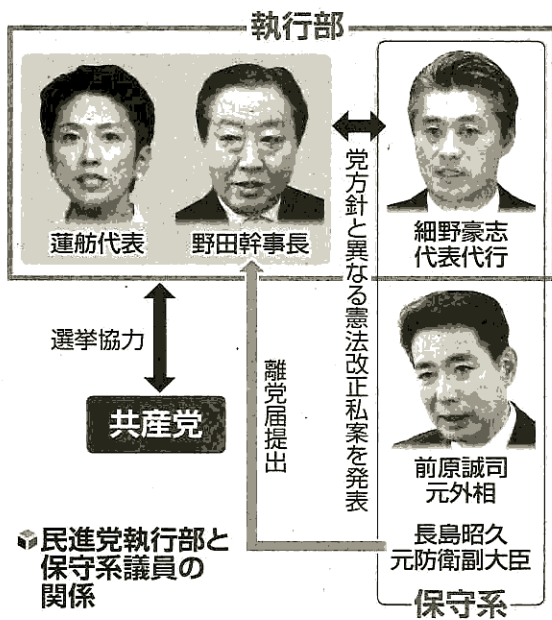


長島氏が離党届、除籍へ 細野氏 独自の改憲私案

きしむ民進

民進党は10日、執行部が進める共産党との共闘を理由に離党の意向を表明した長島昭久・元防衛副大臣を、除籍（除名）処分とする方針を固めた。これに先立ち、長島氏は国会内で野田幹事長に離党届を提出した。執行部は党方針に反対する長島氏の行動を認めれば、離党者の追従を許すなど安定した党運営に支障を来すと判断したとみられる。ただ、この日は細野豪志代表代行が党方針と異なる憲法改正私案を発表しており、執行部の意思統一も困難な状況があらわになった。



野田氏は10日の記者会見で「野党と連携していくことは党大会で認められた。議員辞職が筋ではないか」と述べ、長島氏の対応を批判した。会見後の執行役員会で離党届を受理せず、除籍処分とする方針を確認した。執行部は、長島氏が都連幹事長として、7月の都議選の陣頭指揮を執っていたことは重く見ている。党内では、小池百合子東京都知

た。11日の常任幹事会で正式に手続きに入る見通しだ。

事が事実上率いる地域政党「都民ファーストの会」との連携を目指し、離党する公認候補予定者が相次いでいるが、長島氏の離党表明がこうした動きを加速させかねないためだ。

長島氏は自ら保守系グループを率いてきただけに、共産党との共闘が進めば党内保守系が追従して離党するとの指摘もある。

中堅参院議員は「党を出たいと思っている人はたくさんいる」と断言する。昨年9月の代表選で長島氏から支援を受けた前原誠司・元外相は共産党との共闘路

線について、「執行部は説明していくことが必要だ」と指摘した。

ただ、党内の結束維持は容易ではない。執行部の一員である細野氏は10日発売の中央公論で、高校までの教育無償化を柱とした憲法改正私案を発表した。民進党は「教育無償化に改憲は不要」との立場で、無償化を実現する法案を今国会に提出する準備を進めている。

野田氏はこの日の会見で、細野氏の私案について「党内で決まったことは従ってもらわないといけない」と苦言を呈した。